

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

三重県 桑名市

自治体名：三重県桑名市

担当課名：教育委員会事務局 学校支援課

電話番号：0594-24-1241

1.自治体の基本情報

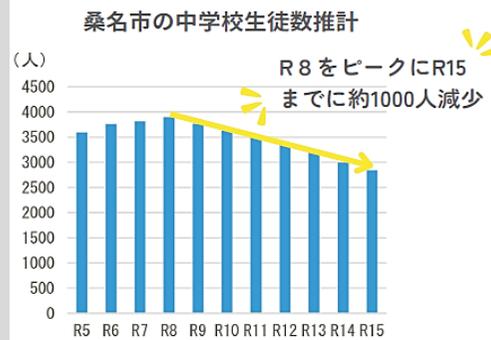
基本情報

面積	136.65 km ²
人口	138,155 人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	3,651 人
部活動数	117 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

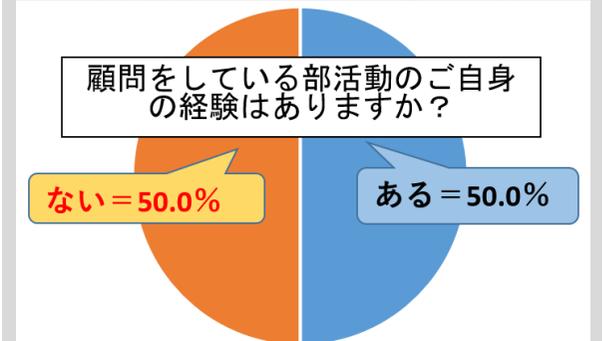
桑名市では、令和8年度中に休日部活動の地域展開を目指している。スポーツ庁の実証事業を活用し、2団体（2種目）に休日の部活動を委託した。そのほか令和6年度は、中体連専門部や吹奏楽連盟と連携し、市独自で休日部活動のモデル事業を実施した。モデル事業に参加した中学生やその保護者、顧問・外部指導者を対象としたアンケート結果には、地域展開することで指導者の専門性が向上することを期待する声や、複数校が連携することによる様々な交流を前向きに受けとっている意見があった。一方で、従来の学校部活動からの変化を不安視する声や、活動場所までの生徒の移動、保護者の金銭的な負担増への懸念もあがった。

令和6年12月に、市内の小学5・6年生とその保護者、小学校教職員および中学校教職員を対象としたアンケートを実施した。小学生の56.8%が土日の部活動を望んでおらず50.2%が週3日以内の活動を望んでいることが判明した。さらに、現顧問のうち、50%が自身の経験のない種目を担当しており、専門的な技術指導ができないことが分かった。どちらのアンケート結果でも共通して、技術指導の専門性だけでなく、ハラスメントに対する意識など指導者の人間性について注視している意見が多く、指導者の質について非常に高い関心が寄せられていることが明らかになっている。受け皿と整備と、指導者の質の担保を第一優先で取り組む必要がある。



出典：令和6年度第2回桑名市総合教育会議 資料

令和6年度部活動地域移行に関するアンケート調査より（市内対象）

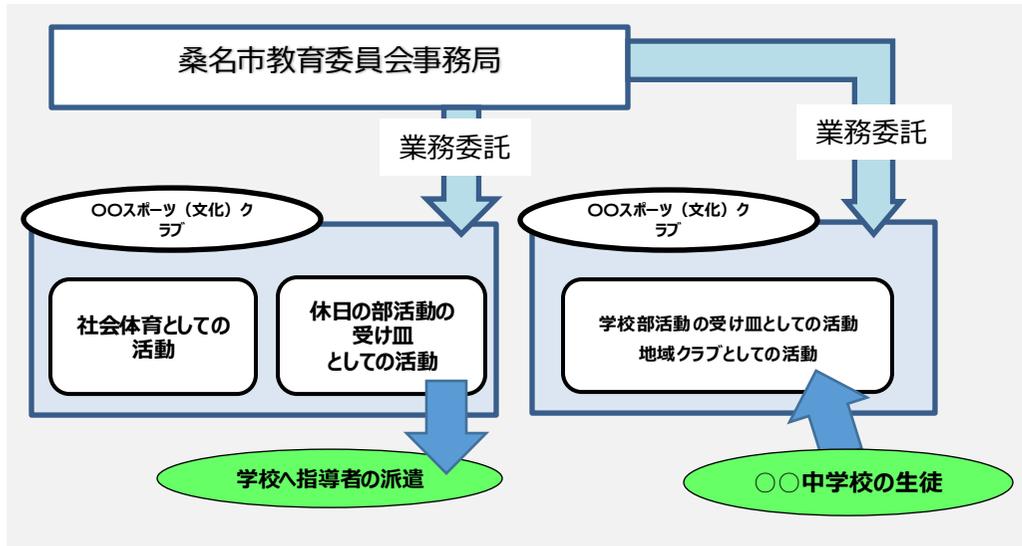


出典：令和6年度第2回桑名市総合教育会議 資料

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校支援課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、中体連専門部および吹奏楽連盟との連携、部活動指導員の任用、市民への情報発信、委託契約全般、兼職兼業の把握管理、市民への周知、部活動在り方検討委員会事務局（3名）

◎首長部局

- ・スポーツ振興課…部活動在り方検討委員会事務局（1名）
- ・生涯学習課、地域コミュニティ課、観光課からも担当者各1名が部活動在り方検討委員会に出席。

年間の事業スケジュール

令和6年4月	業務委託契約締結（3団体） 部活動指導員研修会実施 ACCとの包括連携協定締結
令和6年5月	県との委託契約締結 中学校長会との協議
令和6年6月	第1回部活動在り方検討委員会 部活動地域移行スタートアップ記念講演
令和6年7月	広報掲載のための準備
令和6年8月	第2回部活動在り方検討委員会 桑名市モデル事業開始（～2月）
令和6年9月	教職員対象説明会（全9校）、中学校長会との協議 中体連専門部長への説明
令和6年10月	中間検査対応
令和6年11月	第3回部活動在り方検討委員会、ロードマップ作成 中学校長会との協議、部活動ジャーナル刊行開始
令和6年12月	市内アンケート調査実施 新入生説明会資料配付
令和7年1月	大学訪問（愛知県）、総合教育会議 運動部活動指導者養成講座周知
令和7年2月	第4回部活動在り方検討委員会 運動部活動指導者養成講座実施
令和7年3月	事業完了報告・成果報告書作成 次年度業務委託団体との打合せ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（3部活）
全体の指導者数	10人	全体の運営スタッフ数	10人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
桑名バレーボールアカデミー（KVA）	市民団体	バレーボール	週1回程度 （休日）	土曜日 午前	1年～3年	4月～3月	中学校 体育館	5人	5人	—	中体連：部活動 その他：部活動
桑名ソフトボールアカデミー（KSA）	市民団体	ソフトボール	月2回程度 （休日）	土曜日 午前	1年～3年	4月～3月	中学校 グラウンド	5人	5人	—	中体連：部活動 その他：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

桑名バレーボールアカデミー（KVA）

- R6 5月 無料体験会実施

桑名ソフトボールアカデミー（KSA）

- R7 2月、3月 無料体験会実施

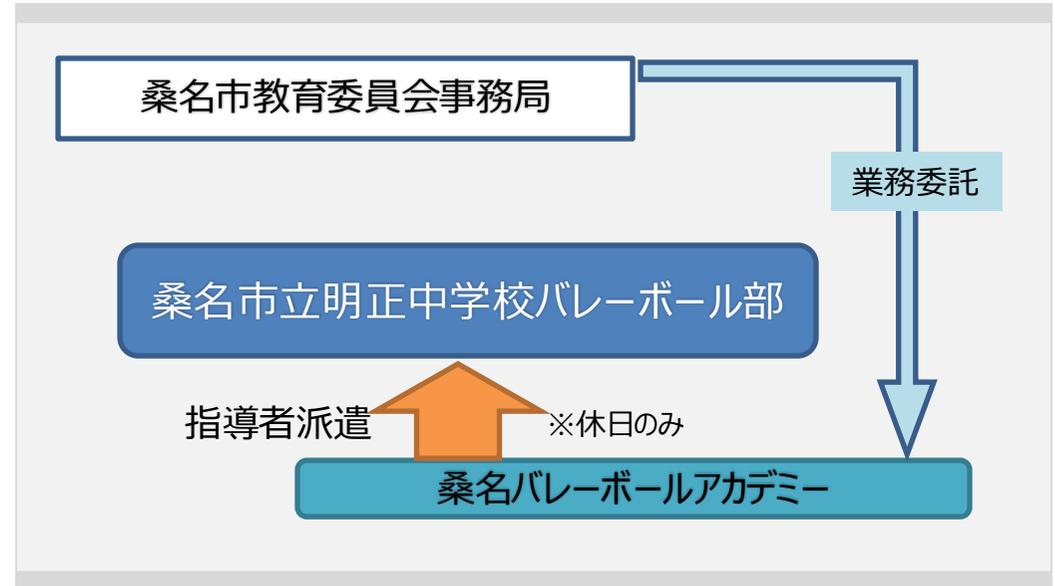
2.実証内容と成果

主な取組例

●桑名バレーボールアカデミー 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	桑名バレーボールアカデミー
期間と日数	4月～3月 週1回程度(休日)
指導者の主な属性	中学校教員、大学生、地域指導者
活動場所	桑名市明正中学校
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	—
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 代表者 1名
役割：事務局機能および委託以外の団体の業務を担当
- 主任指導者 1名
役割：中学校との連絡調整、団体指導者の派遣の采配、委託の窓口、バレーボール部全体の指導
- 指導者 3名
役割：中学生への指導

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



取組内容

● 取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

桑名市部活動在り方検討委員会を年間4回開催。市内の実態をもとに、令和8年度中に休日の部活動を地域展開するにあたり、めざす方向性をすり合わせ、どのような体制を構築するべきか、そのために、いつ、どのようなアクションを起こしていく必要があるのか等を関係者及び有識者で協議した。中体連専門部や吹奏楽の連盟等とも連携を行い、市独自の部活動モデル事業を展開し、検証を行なった。

取組の成果

- 市独自のモデル事業を展開。
種目数12種目、36回開催。
⇒参加生徒および保護者、顧問、外部指導者を対象にアンケート調査を実施。結果を種目ごとにまとめ、地域展開の受け皿を市内のどこに、何か所つくる必要があるかを検討。
- 部活動地域移行に係るアンケート調査を実施。
⇒市内の小学校5・6年生児童とその保護者、中学校教職員、小学校教職員を対象とした。調査結果の解析からニーズを把握し、市としての今後の地域展開プランを作成する上での根拠資料の一つとして活用とした。
- 桑名市としての地域展開の方向性を明確化。
⇒ロードマップ、公認地域クラブ取扱要綱、地域展開プランを作成。



出典：新入生説明会市内共通資料 桑名市における「中学校の休日部活動の地域移行」について

今後の課題と対応方針

令和8年度にむけて、休日の受け皿となる地域クラブを市内に整備していくことが最大の課題となる。生徒と保護者のニーズから、当面の間は行政（学校教育担当およびスポーツ・文化担当）が地域クラブの管理・運営を担っていく必要があると考えている。地域クラブを公認化する仕組みをつくり、公認された地域クラブにかかわる諸業務（指導者研修、学校施設割り振り、集金、報酬支払、指導者募集、団員募集、クレーム対応等）を一括して対応できる体制を整えていく方針を在り方検討委員会で確認した。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

指導者の質の確保

アスリートキャリアセンター（ACC）と包括連携協定を結び、地域展開に関わる指導者に対しての研修を構築する。チームマネジメントや安全管理を含め、子どもたちや保護者の方が安心して活動に参加できる環境を整える。

市独自の指導者育成パッケージを策定し、今後地域展開に関わる指導者に対して、指導基礎研修（必須研修）と指導力向上研修（任意研修）を整える。

桑名市 指導者育成パッケージ構想

持続可能な体制づくりに向けて

部活動の地域移行に係る指導者の育成に関すること

●アスリートキャリアセンターと連携のもと、指導者養成のための研修をおこなう。



「チームマネジメント手法」と「正しく安全な運動指導」から、部活動の指導を行う際に必要な要素をまとめたカリキュラムを開発

休日の部活動の地域移行を目指すために、チームマネジメントや安全管理を含め、指導者の育成体制の環境を整えることで、子どもや保護者の安心感につなげる。

指導者の量の確保

三重県に設置された「みえ地域クラブ人材バンク」を活用し、現在、令和7年度の部活動指導員を募集している。令和7年度は部活動指導員として、学校と連携を図り、令和8年度の地域展開時には、部活動指導員から立場を変え、地域の指導者として地域クラブで活動できるよう準備を進めている。また、市独自に、隣接する大学や公共施設へポスター掲示を依頼し、指導者の確保に努めている。

取組の成果

アスリートキャリアセンターから講師を招き、運動部活動指導者養成講座を開催した。オンラインと対面での実施で、部活動指導員の方や、地域展開時に指導に関わりたい教員など12名が参加し、座学やディスカッションの他、実際に身体を動かしての講座となった。

実際に参加された方からは「静的ストレッチを（練習）はじめにやるのがNGなのは知りませんでした」「これからの指導者に求められるものが今までと違うことがわかりました」という声も聞かれ、学びのある講座となった。

実際に行われた講座の様子



今後の課題と対応方針

生徒や保護者アンケートから「指導者の人間性」「厳しい指導」に対する不安の声があがっている。その声に対応するため、指導基礎研修（必須研修）と指導力向上研修（任意研修）の内容を精査する必要がある。

また、指導者の量の確保の面で、部活動に関するホームページの立ち上げや、SNS等を利用した広報活動を展開し、指導者の確保に努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
工：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 工：面的・広域的な取組

取組事項

桑名市モデル事業

どのようなかたちであれば、継続可能な活動になるのかを検討するため、市の独自事業として、地区中体連と連携し、各種目の実情に合わせて桑名市モデル事業を行った。

検証内容

- ・活動場所（どの学校、地域、施設が適当か）
 - ・受け皿の数（何人規模の地域クラブがいくつ必要か）
 - ・指導者の数（何人いれば活動が行えるか）
 - ・活動費用（受益者負担になったときの負担はどうか）等
- 事業後に参加者、保護者、指導員、顧問にアンケートを取り、アセスメントを行った。

モデル事業例①：施設借用と地域指導者派遣パターン



○学校外の施設を借用
 ○複数校が集まって実施
 ○引率は教員
 ○技術指導は地域指導者

☆専門的な指導を受けることができる
 ☆人数が増え、多様な練習を行うことができる
 ☆参加する教員の数を減らすことができる

モデル事業例②：学校施設利用と合同練習パターン

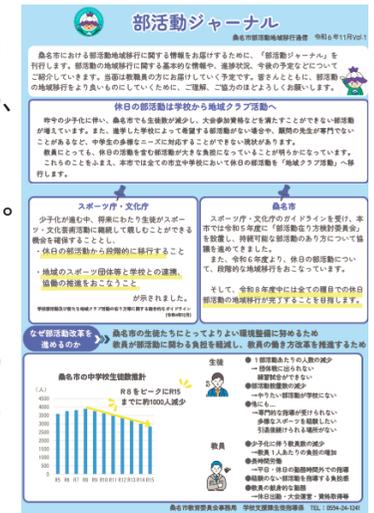


○学校の施設を利用
 ○複数校が集まって実施
 ○引率は教員
 ○技術指導も教員

☆人数が増え、多様な練習を行うことができる
 ☆参加する教員の数を減らすことができる

部活動ジャーナル

教職員へ地域展開の情報を届けるため、地域展開に関する通信を発行している。今後は部活動に関するホームページを立ち上げ、市民への周知理解促進につなげる。



取組の成果

市内全校が参加し、休日に部活動が行われているすべての種目でモデル事業が実施された。アセスメントを受け、年度内には、市域展開時の活動場所、受け皿の数が仮決定される。

通信は校務支援システムでの展開により、市内中学校だけでなく、小学校への周知も行うことができた。

桑名市モデル事業実施風景



今後の課題と対応方針

仮決定した活動場所や受け皿の数をもとに、地域クラブの立ち上げや認定を行う。また、施設の調整を行い、備品の貸出や利用条件の整備を行っていく。

学校施設を利用する文化活動へ対応するため、施設改修を進める必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

調査の結果より

令和6年12月に市内の小学5・6年生を対象としたアンケート調査では、「中学校に入学したら、部活動に入りたいか」という問いに対し、53.8%が「入りたい」と回答し、「希望する部があれば」と回答した30.8%と合算すると、84.6%の児童が何らかの部活動に入ることを検討しており、令和6年5月時点の市内中学生の部活動加入率90.9%に迫る割合となった。また、「1週間に何日くらいの活動がちょうどよいか」という問いに対し、56.8%の児童が、平日のみの活動を選択した。さらに、週3日以内の活動を選択した児童は50.2%にのぼり、現行のガイドラインのなかで最大の活動日数となる平日4日土日1日を選択した児童は16.7%にとどまった。

小学生の保護者に対する調査からは、地域移行に係る不安として、活動場所までの送迎に対する不安（64.6%）、地域の指導者の人間性（54.4%）が上位を占めた。

今後の課題と対応方針

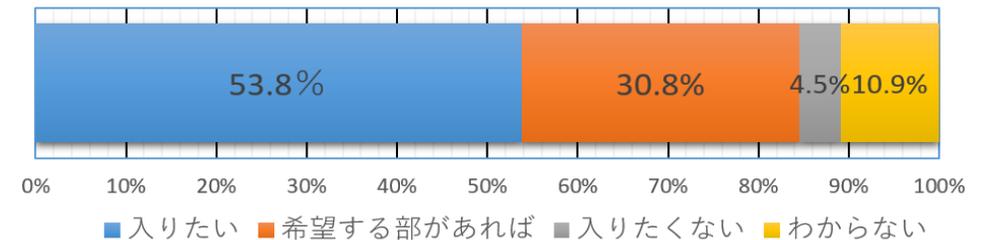
保護者の選択した懸念事項だけでなく、児童の記述式の回答からも、教員ではない地域の指導者に対する漠然とした不安があることが散見されたことから、指導者の人間性を含めた質の担保が不可欠であることを改めて認識することとなった。対応策としては、現場での指導にあたる方全員を対象に、市（管理運営部局）が実施する研修を受講してもらい、中学生の指導に対する素養を身につけてもらうことを義務化することを検討していく。

また、地域展開に伴い、休日の活動場所が所属校ではなくなることで、保護者による送迎等、受益者の負担が増加することが予想されるため、生徒の移動手段について、経済性・安全性も含めてさらに研究をすすめる必要がある。

市内の児童（5・6年生）の調査結果

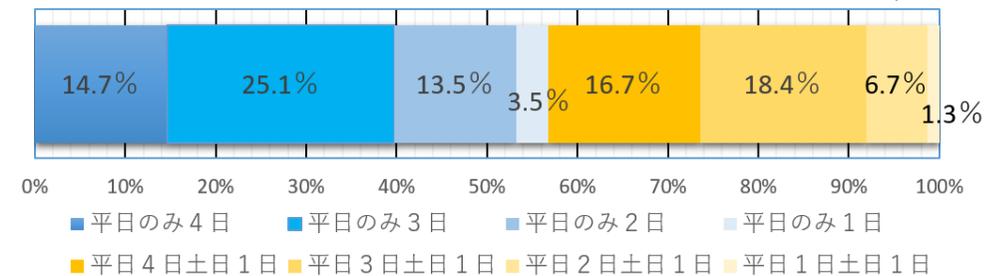
中学校に入学したら、部活動に入りたいですか

N=2,151



1週間に何日くらいの活動がちょうどよいですか

N=2,151



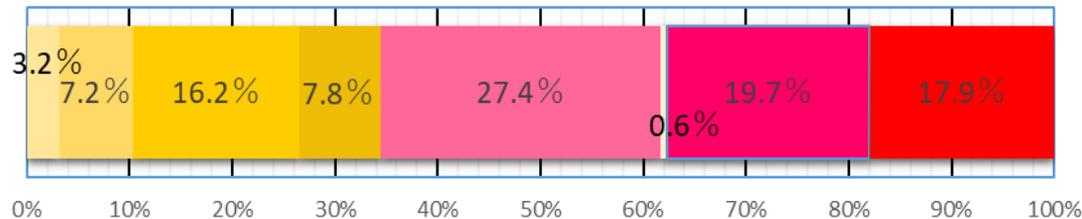
2.実証内容と成果②

アンケート結果・保護者の声

●市内の小学5・6年生保護者アンケート結果

1ヶ月あたり支出できる妥当と思われる金額

N=1,206



■ 6,001～10,000円 ■ 5,001～6,000円 ■ 4,001～5,000円 ■ 3,001～4,000円

■ 2,001～3,000円 ■ 10,001円以上 ■ 1,001～2,000円 ■ ～1,000円

⇒**62%が月額負担3,000円まで支出できると回答**

⇒5,000円以上と回答した保護者の割合は10.9%

地域展開にあたり、保護者として**期待すること** **TOP 3**

- No.1 (47.3%) 専門的な指導を受ける機会が増えること**
- No.2 (44.2%) 学校・教室とは別のつながりができること**
- No.3 (25.9%) 競技力・技術が向上すること**

地域展開にあたり、保護者として**不安に思うこと** **TOP 3**

- No.1 (64.6%) 送迎等の時間的な負担**
- No.2 (54.4%) 指導者の人間性**
- No.3 (33.0%) 希望する種目の活動が市内にあるかどうか**

●保護者の声

中学生の休日部活動の地域移行に関わるご意見等がありましたら、お書きください。

地域の専門家の方を見張る方はいるのでしょうか。子どもたちに万が一の事があった時、またいじめや暴力行為が認められたとき、どのように対処されるのでしょうか。

送迎しなければならなくなるのが一番心配である。スクールバスのような循環バスも検討してほしい。

学業とのバランスを考慮して欲しいです。本気でやりたい子はクラブチームに別で所属しているケースもあり、先生方の負担が減り、生徒自身も自分で選択ができるようになれば良いと感じます。

休日の部活動の地域移行は、学校の先生方の働き方改革という点で必要なことだと思います。が、そのしわ寄せが子どもたちにいくことはないようにしてほしいです。適切な指導ができる指導者の確保や、全指導者が受けるべき研修（救命講習などを含めたもの）を設定するなど、子どもたちが安全に部活動を行える環境を確保してください。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

部活動指導員を広く募集するためのポスターを作成し、市内の公共施設や、近隣の大学等へ掲示を依頼。
すぐに面接・採用に進まずとも、人材バンクへの登録へご案内。



あなたの情熱と経験を桑名の中学生に！

桑名市 部活動指導員募集中！

主な活動内容

- 部活動の技術指導
- 学校外での活動(大会・練習試合)の引率

勤務条件等

- 場所：桑名市立中学校
- 時間：年間210時間
1回2～3時間(基本)
- 報酬：1時間1641円
+交通費・旅費
(令和6年度実績)

採用の流れ

書類審査、面接選考を経て、部活動指導員として登録されます。登録者は学校からの配属希望条件が合致した場合、部活動指導員として採用された後、当該の学校にて勤務していただきます。

興味があるあなた

これまで培ってきたあなたの技術や経験を活かし、桑名市の中学生と一緒に活動してみませんか。

平成29年3月、文部科学省より「学校の教育活動に基づき、生徒の自主的・自発的な参加により行われるスポーツ、文化等に関する教育活動である部活動において、校長の監督を受け、技術的な指導に従事する」と規定された職種のことです。

お問い合わせ
桑名市教育委員会事務局 学校支援課 生徒指導係
☎ 0594-24-1241

HP
QRコード

【部活動指導員を募集するチラシ：スポーツver.】



あなたの情熱と経験を桑名の中学生に！

桑名市 部活動指導員募集中！

主な活動内容

- 部活動の技術指導
- 学校外での活動(大会・練習試合)の引率

勤務条件等

- 場所：桑名市立中学校
- 時間：年間210時間
1回2～3時間(基本)
- 報酬：1時間1641円
+交通費・旅費
(令和6年度実績)

採用の流れ

書類審査、面接選考を経て、部活動指導員として登録されます。登録者は学校からの配属希望条件が合致した場合、部活動指導員として採用された後、当該の学校にて勤務していただきます。

興味があるあなた

これまで培ってきたあなたの技術や経験を活かし、桑名市の中学生と一緒に活動してみませんか。

平成29年3月、文部科学省より「学校の教育活動に基づき、生徒の自主的・自発的な参加により行われるスポーツ、文化等に関する教育活動である部活動において、校長の監督を受け、技術的な指導に従事する」と規定された職種のことです。

お問い合わせ
桑名市教育委員会事務局 学校支援課 生徒指導係
☎ 0594-24-1241

HP
QRコード

【部活動指導員を募集するチラシ：文化ver.】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【桑名市モデル事業：ソフトテニスの様子】



【桑名市モデル事業：バレーボールの様子】



【桑名市モデル事業：水泳競技の様子】



【桑名市モデル事業：軟式野球】

自治体の課題、現状

- 桑名市では、中学校生徒数が令和15年度までに約1,000人減少する見込みとなっている。また、市内部活動数も減少しており、令和3年度121あった部活動が、令和6年度夏には113に減少している。
- 教員対象アンケートより、顧問の半数が、経験のない部活動を担当しており、約6割が休日の部活動に負担感を感じている。
- 地域展開を進める上での課題は、地域人材の確保と質の確保にある。100を超える部活動の受け皿を確保するためには指導者が不足しており、また、生徒・保護者アンケートからも指導者の人間性を不安視する声があがっている。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	9校	全生徒数	3,651人
域内の部活動数	117部 運動96 文化21	実施した地域クラブ数	2クラブ
全体の指導者数	10人	全体の運営スタッフ数	10人
主な運営団体	市民団体		
主な種目	バレーボール ソフトボール		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：10人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	—	主な活動場所	明正中学校

地域移行関連の取組、成果

- 市と一般社団法人アスリートキャリアセンターが**包括連携協定**を結び、連携しながら、指導者の研修を充実し、指導者の質の確保を行う。
- 県のスタートアップ事業として、地区中体連と連携し、**桑名市モデル事業**を行い、地域展開完了時の受け皿の数、場所、指導者の数、活動費用等の検証を行った。
- 市内小学5.6年生の児童及び保護者、小学校・中学校の教職員に**アンケート**を取り、アセスメントを行うことにより課題やニーズが明らかとなった。

運営体制図

